

令和3年度 ときがわ町教育要覧



令和2年度改築竣工 明覚小学校プール

ときがわ町教育委員会

ときがわ町教育委員会

ときがわ町民憲章

都幾川の清流は、豊かな森林や人々の歴史を育み、水と緑に囲まれた町「ときがわ」を作りました。先人から受け継いだ人と自然のやさしさを未来へ伝えるために、この美しい町に愛着と誇りをもって、私たちはこの憲章を定めます。

- 1 清らかな水と豊かな緑に調和した、
快適で安全な町をつくります
- 2 人々が健康で共に支え合う、
笑顔と優しさの広がる、温かい町をつくります
- 3 歴史と伝統に学び、新たな文化を創り出す、
心豊かな町をつくります
- 4 子どもたちを健やかに育み、夢と希望に満ちた、
明るい町をつくります
- 5 勤労に誇りとよろこびを感じる、
活気あふれる町をつくります

(平成24年4月1日制定)

目 次

I 町の概況	1
ときがわ町の概要	2
ときがわ町の人口	3
ときがわ町の予算（当初）	5
教育費の内訳（当初）	5
II 教育行政及び学校教育	7
1 教育委員会	8
2 令和3年度 ときがわ町教育行政重点施策	10
3 学校の概要	15
4 児童生徒数の推移	17
5 小学校の紹介	19
6 中学校の紹介	22
7 学校給食センターの紹介	24
8 関口茂八奨学金制度	25
III 生涯学習	27
生涯学習推進計画（概要版）	28
1 ときがわ町の文化財	31
2 生涯学習団体	34
3 生涯学習施設（体育施設・文化施設・図書館・図書室）	34
4 ときめき塾	40
5 放課後子供教室	41
6 子ども大学ときがわ	42
7 ふれあい・ときがわ	43
8 夏休み子ども学習室	43
IV 教育関係施設等内装木質化	45
1 小・中学校	47
2 公民館	55
3 体育館	57
V 教育関係役職者名簿	59

I 町の概況

ときがわ町の概要

埼玉県ときがわ町は平成 18 年 2 月に都幾川村、玉川村の 2 村が合併し、新たにスタートした町です。都幾川村は、1,300 年の歴史を持つ慈光寺に端を発する伝統ある建具の里として知られ、杉や桧を中心とする森林に囲まれた美しい村です。一方、玉川村は、丘陵と平地の地形から自然に恵まれ、江戸時代には幕府の機関である玉川陣屋が置かれた周辺 50 か村の中心として栄えた村です。自然あふれる木々の温もりや、四季折々に咲き誇る花々、悠久の川の流れが織りなす豊かな自然に抱かれたこの地域で、先人たちは文化を育み反映してきました。それらの伝統を継承しつつ、2つの地域の絆を深めながら魅力ある町を目指し誕生したのがときがわ町です。

ときがわ町は、首都圏から北西に約 60 km、埼玉県のほぼ中央に位置し、町名の由来でもあります都幾川が西から東へ流れる、豊かな自然環境に恵まれた中山間地域です。人口は約 1 万 2 千人、面積は約 56 km²です。

合併後 10 年が経過し、「人と自然の優しさにふれるまち ときがわ」を町の将来像とし活力あるまちづくりに取り組んでいます。



東 経	139 度
北 緯	36 度
海 抜	64 メートル
面 積	55.90 km ²

町の花／ミツバツツジ

古くからときがわ町に自生し、早春の山里で若葉より先に紅紫の美しい花を枝いっぱいに咲かせます。また、秋の紅葉も美しい落葉低木です。ムラサキツツジとも言われています。



町の木／ヤマモミジ

町内のほとんどの地域に自生する落葉高木で、初夏は輝くような青葉や、秋の美しい紅葉が町の山々を彩ります。



町の鳥／カワセミ

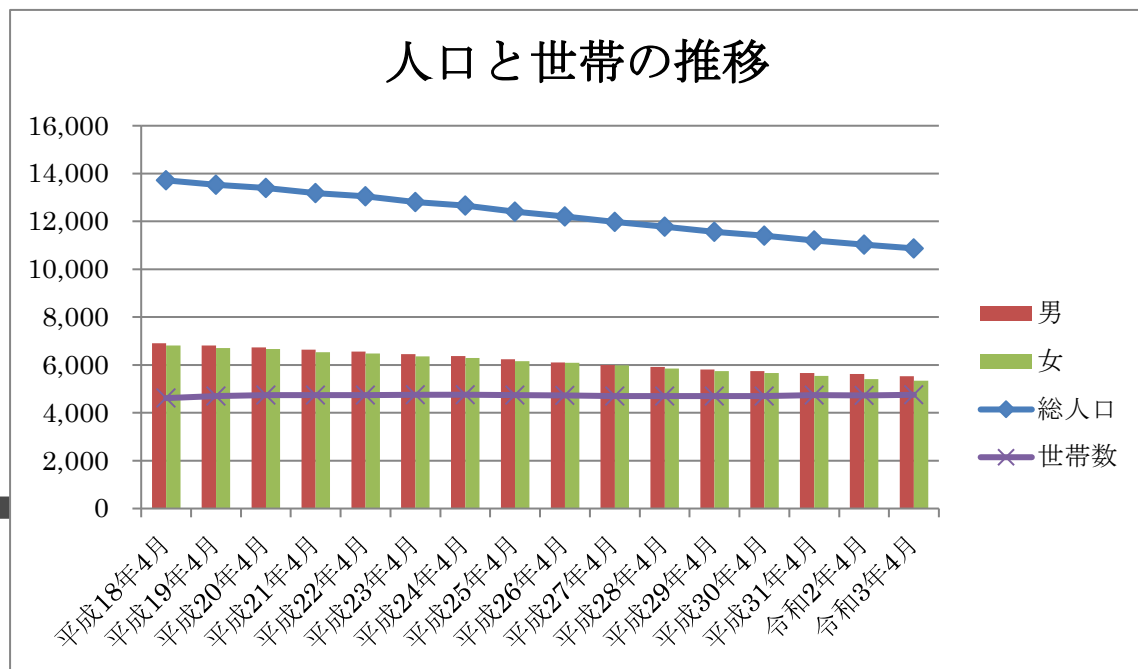
都幾川の清流をイメージする美しい鳥です。都幾川流域に生息し、早朝や夕暮れ時に川面を滑るように飛ぶ姿が見られます。



ときがわ町の人口

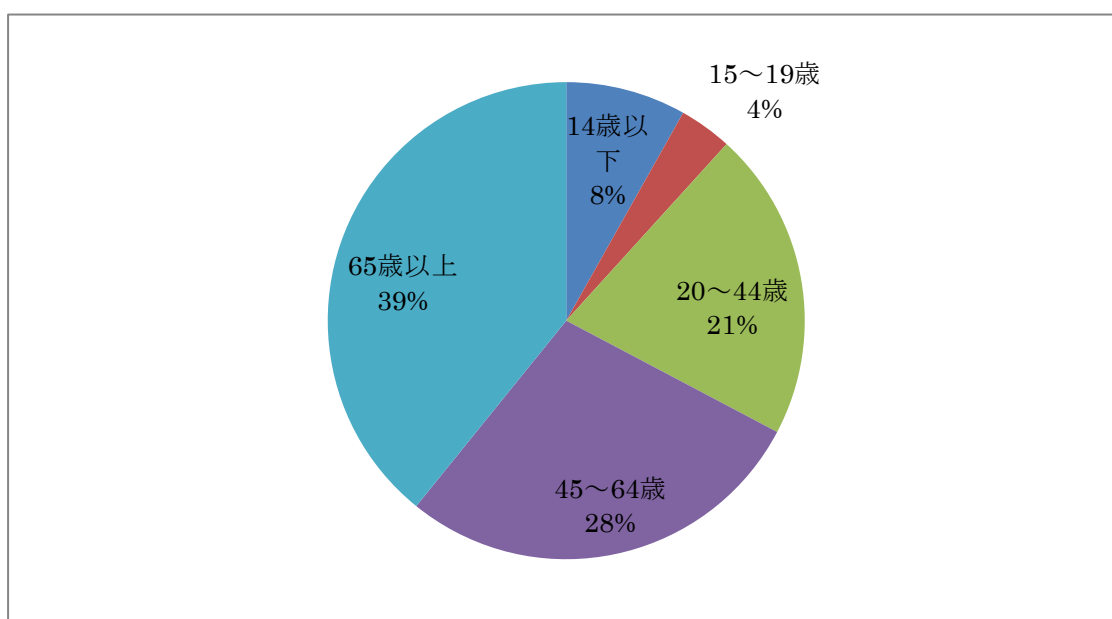
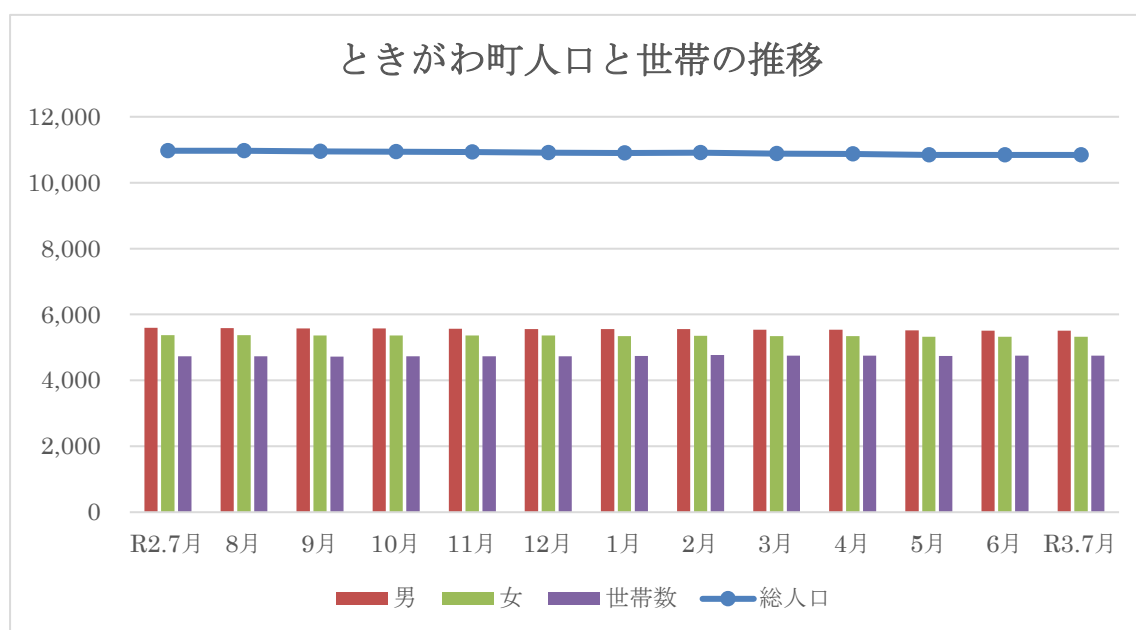
	平成 18 年 2 月 1 日	令和 3 年 7 月 1 日	差
総人口	13,712 人	10,842 人	▲2,870 人
男	6,912 人	5,513 人	▲1,399 人
女	6,800 人	5,329 人	▲1,471 人
世帯数	4,577 世帯	4,753 世帯	+176 世帯

■合併時
(平成18
年2月1
日)との
差



	R2.7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	R3.7月
総人口	10,969	10,965	10,947	10,941	10,930	10,914	10,899	10,911	10,880	10,874	10,843	10,842	10,842
男	5,597	5,591	5,581	5,577	5,569	5,555	5,555	5,560	5,538	5,535	5,518	5,513	5,513
女	5,372	5,374	5,366	5,364	5,361	5,359	5,344	5,351	5,342	5,339	5,325	5,329	5,329
世帯数	4,732	4,728	4,726	4,733	4,732	4,731	4,744	4,767	4,750	4,753	4,743	4,753	4,753

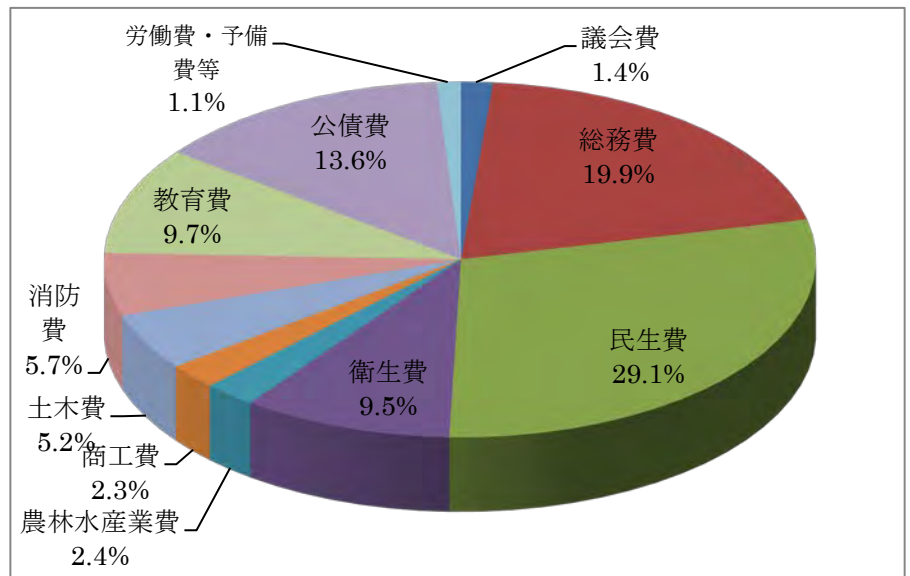
■年齢別人口割合(令和3年4月1日現在)



ときがわ町の予算(当初)

款	金額(千円)
議会費	76,067
総務費	1,049,506
民生費	1,533,150
衛生費	500,976
農林水産業費	124,689
商工費	120,984
土木費	271,529
消防費	299,876
教育費	513,044
公債費	715,013
労働費・予備費等	57,698

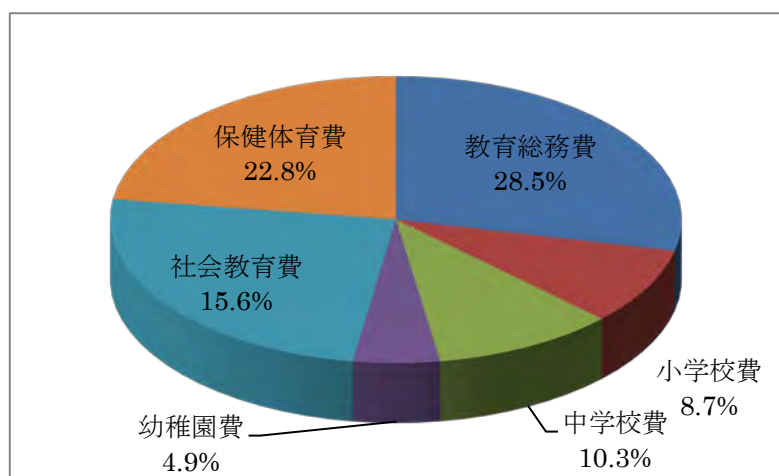
町の予算(歳出) 合計 5,262,532 千円



教育費の内訳 (当初)

款	金額(千円)
教育総務費	146,412
小学校費	44,462
中学校費	52,881
幼稚園費	25,105
社会教育費	127,450
保健体育費	116,734

教育費の予算(歳出) 合計 513,044 千円



Ⅱ 教育行政及び学校教育

1 教育委員会

教育長及び教育委員



教 育 長
久 米 正 美



教育長職務代理者
大 島 紀 夫



委 員
岡 野 和 義



委 員
山 下 幸 子



委 員
小 池 裕 子

職 名	氏 名	現在の教育長及び教育委員としての任期
教 育 長	久 米 正 美	平成 30 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日
教育長職務代理者	大 島 紀 夫	平成 30 年 3 月 25 日～令和 4 年 3 月 24 日
委 員	岡 野 和 義	平成 31 年 3 月 25 日～令和 5 年 3 月 24 日
委 員	山 下 幸 子	令和 2 年 3 月 25 日～令和 6 年 3 月 24 日
委 員	小 池 裕 子	令和 3 年 3 月 25 日～令和 7 年 3 月 24 日

歴代教育委員

氏 名	就任年月日	退任年月日
杉 田 治 正	平 18. 2. 1	平 21. 3. 24
長 島 一 雄	平 18. 2. 1	平 26. 3. 24
房 野 照 一	平 18. 2. 1	平 20. 3. 24
西 澤 明 彦	平 18. 2. 1	平 30. 3. 24
清 水 孝 一	平 18. 2. 1	平 19. 3. 24
戸 口 皓 雄	平 19. 4. 2	平 23. 3. 31
市 石 智 明	平 20. 3. 25	平 24. 3. 24
坂 下 美代子	平 21. 3. 25	現在に至る
船 戸 裕 行	平 23. 4. 1	平 30. 3. 31
前 田 郁 子	平 24. 3. 25	平 28. 3. 24
柴 崎 政 利	平 26. 3. 25	平 31. 3. 24
相 澤 学 代	平 28. 3. 25	令 2 . 3. 24
大 島 紀 夫	平 30. 3. 25	現在に至る
岡 野 和 義	平 31. 3. 25	現在に至る
山 下 幸 子	令 2 . 3. 25	現在に至る
小 池 裕 子	令 3 . 3. 25	現在に至る

歴代教育委員長

氏 名	就任年月日	退任年月日
杉 田 治 正	平 18. 2. 1	平 21. 3. 24
長 島 一 雄	平 21. 3. 25	平 24. 3. 24
西 澤 明 彦	平 24. 3. 25	平 27. 3. 31

歴代教育長

氏 名	就任年月日	退任年月日
清 水 孝 一	平 18. 2. 1	平 19. 3. 24
戸 口 皓 雄	平 19. 4. 2	平 23. 3. 31
船 戸 裕 行	平 23. 4. 1	平 30. 3. 31
久 米 正 美	平 30. 4. 1	現在に至る

平成 18 年 2 月 1 日合併以降

歴代教育長職務代理者

氏 名	就任年月日	退任年月日
西 澤 明 彦	平 27. 4. 1	平 30. 3. 24
坂 下 美代子	平 30. 3. 25	令 3. 3. 24
大 島 紀 夫	令 3. 3. 25	現在に至る

2 令和3年度 ときがわ町教育行政重点施策

令和3年度

ときがわ町教育行政重点施策



ときがわ町教育委員会は、基本理念「たくましく生きる力を育てるときがわ教育」の実現をめざし、児童生徒一人一人が確かな学力や体力、社会性を身につけるなど、生涯にわたる人間形成の基礎となる学校教育を充実させるとともに、自然と伝統文化を大切にしつつ、スポーツや芸術文化活動などの充実した生涯学習社会を築き、時代や社会の変化に積極的に対応した教育を推進するため、令和3年度の教育行政重点施策を次のとおり定めます。

【目標】

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 確かな学力の育成 | 6 質の高い学校教育のための環境の充実 |
| 2 豊かな心の育成 | 7 家庭・地域の教育力の向上 |
| 3 健やかな体の育成 | 8 生涯にわたる学びの推進 |
| 4 自立する力の育成 | 9 文化芸術の振興 |
| 5 多様なニーズに対応した教育の推進 | 10 スポーツの推進 |

【重点施策と主な取り組み】

1 確かな学力の育成

(1) 一人一人の学力を確実に伸ばす教育の推進

- ・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得のための学習活動の推進
- ・小学校低学年へ学習支援員の配置
- ・学力調査の結果分析・活用をふまえた学力向上の取組
- ・「ときがわ問題集」の実施
- ・自主学習ノートを活用した家庭学習の質の向上

- ・日本語検定実施による、読解力・表現力の向上
 - ・きめ細かい教育の推進（町費による「少人数学級」「複式学級の教育効果を高めるため」の教員配置）
- （２）新しい時代に求められる資質・能力の育成
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
（思考力・判断力・表現力等を身に付ける協働的な学習活動の推進）
 - ・家庭との協力体制の構築による家庭学習の定着
※スタディ・オン・サタデー（土曜日の学習会）実施による学ぶ機会の確保
 - ・教育委員会学校指導訪問を通じた授業改善
- （３）伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進
- ・ときがわ町に対する誇りを育む教育の推進
 - ・近隣大学の留学生との交流を通じたグローバル化に対応できる人材育成の推進
 - ・A L T の積極的な活用による英語学習・英語教育の充実
 - ・ときがわ町小学生英語村の実施
- （４）技術革新に対応する教育の推進
- ・小学校におけるプログラミング教育の円滑な実施を支援
 - ・タブレットパソコンを活用した授業の推進
 - ・情報活用能力の育成
 - ・情報社会のルールやセキュリティ、情報モラルの適切な指導
 - ・科学技術教育及び環境教育の推進
- （５）人格形成の基礎を培う幼児教育の推進
- ・幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続

２ 豊かな心の育成

- （１）豊かな心を育む教育の推進
- ・児童生徒の自立を促す規律ある態度の育成
 - ・全教育活動を通じた道徳教育の充実
 - ・地域の特色を生かした体験活動の推進
 - ・町立中学校合同ハイクの実施
 - ・きめ細かい教育の推進（町費による「少人数学級」「複式学級の教育効果を高めるため」の教員配置）
- （２）いじめ防止対策の推進と生徒指導の充実
- ・児童生徒のいじめを許さない意識の醸成及びいじめの早期発見と徹底した対応
 - ・校内生徒指導体制の充実

- ・お互いに挨拶をかわせる子供の育成
- ・教育相談活動の推進
- ・幼保小中及び家庭・地域との連携による健全育成活動の推進

(3) 人権を尊重した教育の推進

- ・様々な人権課題に対応した教育の推進
- ・人権教育の推進体制の充実
- ・教職員対象の人権教育研修会の充実

3 健やかな体の育成

(1) 健康の保持・増進

- ・がん教育の推進、アレルギー疾患などの健康課題への対応
- ・学校・家庭地域が連携した食育の推進
- ・危険ドラッグを含めた薬物乱用防止教育の推進
- ・生活習慣の確立に向けた支援

(2) 体力の向上と学校体育活動の推進

- ・児童生徒の体力の向上
- ・持続可能な運動部活動の運営
- ・外部指導者の活用などによる運動部活動の充実

4 自立する力の育成

(1) 生き方指導としてのキャリア教育・職業教育の推進

- ・組織的・系統的なキャリア教育の充実
- ・職場体験活動の充実
- ・地域に根差した職業を学ぶ社会科見学の推進

(2) 主体的に社会の形成に参画する力の育成

- ・将来に向けた「税」に関する学習や「消費者教育」に係る学習の推進

5 多様なニーズに対応した教育の推進

(1) 障害のある子供への支援・指導の充実

- ・特別支援学級に対する支援の充実
- ・就学支援委員会の充実と関係機関との連携

(2) 不登校児童生徒への支援

- ・スクールソーシャルワーカー、家族相談支援センター、小川町適応指導教室等との連携を踏まえた総合的な不登校対策の充実

(3) 経済的に困難な子供への支援

- ・一人一人の状況に応じた支援体制の充実

6 質の高い学校教育のための環境の充実

(1) 教職員の資質・能力の向上

- ・教職員人事評価制度の充実
- ・教職員の指導力向上を図る研修の充実（指導技術の共有・活用）
- ・学力先進校（秋田県）への視察

(2) 学校の組織運営の改善

- ・地域に根差した「特色ある学校づくり」の推進
- ・コミュニティ・スクールの充実
- ・学校ホームページの刷新
- ・学校における働き方改革の推進
- ・町教育委員会による指導訪問と管理訪問の充実

(3) 子供たちの安心・安全の確保

- ・安全教育の推進（避難訓練や防災教育などの計画の適切な実施）
- ・児童・生徒の危険回避能力の育成と向上
- ・家庭、地域と連携した防犯・安全教育の推進
- ・「こども110番の家」の整備と見守り活動の充実

(4) 学習環境の整備・充実

- ・学校施設の整備推進
- ・就学に対する支援の充実
- ・ICT環境の整備
- ・ICT支援員による教職員への研修

7 家庭・地域の教育力の向上

(1) 地域と連携・協働した教育の推進

- ・「学校応援団」の推進
- ・家庭や地域と学校を結ぶコーディネーターと連携した地域人材の積極的活用

(2) 学校・家庭・地域が一体となった教育の推進

- ・放課後の学習活動の充実
- ・地域の特色を生かした教育活動の推進

(3) 家庭教育支援体制の充実

- ・「親の学習」の推進

8 生涯にわたる学びの推進

(1) 生涯を通じた多様な学習活動の推進

- ・生涯学習推進体制の整備・充実 ～生涯学習情報の提供～

※HPを活用した生涯学習情報の提供機能の充実と整備

- ・生涯学習ボランティア指導者の活動を支援

※職業や学習で培った経験を活かし、活躍できる機会の推進（「ときめき塾」「放課後子ども教室推進事業」「子ども大学ときがわ」等）

- ・生涯学習機会の充実と学習成果の活用

※豊かな長寿社会に向けた学習の推進（「高齢者大学」等）

※子どもたちの学習機会の充実（「子ども大学ときがわ」「夏休み子ども学習室」等）

※文化センターの機能を最大限に活かした事業の展開（「文化祭」「町民音楽祭」等）

- ・図書館の機能の向上と効率運営の推進

※所蔵資料の充実と、HPを活用した情報発信・利便性の向上

※地域活性化のための情報提供や学校等との連携推進

※読書活動の推進

（２）人権教育・啓発事業の充実

- ・講演会、研修会の実施
- ・人権啓発DVD、図書等の貸出し、資料等の提供
- ・人権教育推進協議会の事業の充実

9 文化芸術の振興

（１）文化芸術の創造と伝統文化の継承

- ・文化団体の活動支援
- ・町民参加型事業の充実及び文化センター公演事業の招致
- ・文化財を活用した学習の推進
- ・国指定史跡小倉城跡の整備の推進
- ・県・町指定無形民俗文化財（伝統芸能）の後継者育成事業の支援
- ・国・県指定有形文化財保存管理事業の支援
- ・天然記念物保存管理事業の支援

10 スポーツの推進

（１）地域スポーツの推進

- ・町民の健康づくり、体力づくりを目指した事業の推進
- ・スポーツ協会加盟団体による各種スポーツ教室、大会等開催の支援
- ・スポーツ団体の活動支援
- ・スポーツ指導者、リーダーの育成支援
- ・体育施設の維持管理と環境整備の充実

3 学校の概要

小 学 校

明覚小学校		萩ヶ丘小学校		玉川小学校	
明 6	明覚小学校創立 (本郷観音寺借用)	明 5	◆大柵第一小学校 身形神社拝殿を仮校舎とし、秩父郡槻川村の分教場として開校	明 6	玉川郷と田黒村が合併して学校を設置し玉川学校と称する
明 26	明覚第一尋常高等小学校と改称、大附に第二尋常小学校創立	昭 30	比企郡都幾川村立大柵小学校に改称	明 21	玉川村、田黒村、五明村、日影村が合併し玉川村と改め2棟の校舎を新築する
明 29	校舎を現在地に新築移転	昭 35	分校を大柵第二小学校として独立、本校を比企郡都幾川村立大柵第一小学校に改称	明 24	4月30日開校記念日とする
大 6	第二尋常小学校を大附分教場に改称	平 16	大柵第一小学校閉校	明 25	玉川尋常高等小学校と改称する
大 12	校旗制定			明 32	高等科を2学級編成とし、校旗を制定する
大 13	校歌制定	明 7	◆大柵第二小学校 清水謙三郎宅の一部を仮校舎として開校し槻川分教室と称す	大 4	本校、日影分校の校舎が完成し落成式挙行政
昭 16	明覚国民学校に改称	昭 27	大柵村立大柵小学校柵平分校と改称する	昭 22	比企郡玉川村立玉川小学校と改称する
昭 22	明覚村立明覚小学校に改名	昭 30	都幾川村立大柵小学校柵平分校と改称する	昭 43	校歌が制定される
昭 23	P T A設立			昭 46	日影分校が廃校となる
昭 30	都幾川村立明覚小学校に改称	昭 35	独立し都幾川村立大柵第二小学校となる	昭 47	統合校舎と共同調理場が完成する
昭 49	学校プール竣工	平 13	都幾川村立大柵第二小学校休校記念式典	昭 48	プールが完成する
昭 53	体育館竣工	平 16	大柵第二小学校閉校	昭 49	体育館が完成する
昭 54	本校新校舎(普通教室)竣工			平 3	校舎の増改築をする
昭 59	本校新校舎(特別教室棟)増築	明 7	◆平小学校 平村萩ヶ岡学校開校	平 9	ふれあい広場が完成する
	運動場改造工事竣工	明 20	明覚学校西平分教室と改称する	平 10	コンピュータ教室が完成する
昭 62	大附分校統合	明 22	平村萩ヶ岡小学校と改称する	平 12	校舎内装木質化工事が完成する
平 2	南校舎内部改装、トイレ新築	明 23	萩ヶ岡尋常小学校と改称する	平 18	ときがわ町立玉川小学校に改称する
平 3	南校舎配膳室新築	明 41	平尋常高等小学校と改称する		校舎耐震補強及び大規模改造工事完了
平 3	校舎内改装工事	昭 22	比企郡平村立平小学校設置	平 23	室内木質化工事完了
平 4	職員室・校長室空調設備設置	昭 30	都幾川村立平小学校となる	平 25	体育館耐震補強及び大規模改造工事完了
平 5	開校120周年記念式典	平 16	平小学校閉校	平 26	普通教室空調機器設置工事完了
平 6	校庭東側防球ネット新設			平 29	ふれあい広場敷地用地取得
平 9	北校舎廊下壁面塗装工事	平 16	◆萩ヶ丘小学校 大柵第一小学校、大柵第二小学校、平小学校が統合され萩ヶ丘小学校として開校する		校舎全トイレ改修工事完了(自動洗浄機能付トイレ化及び乾式化)
平 9	プール塗装工事	平 25	普通教室空調機器設置工事完了	令 2	玉川小学校床研磨塗装工事(廊下・階段)学校運営協議会設置
平 11	給食受入入口改修工事				
平 11	プールトイレ水洗化工事				
平 13	コンピュータ設置(21台)				
平 13	体育館屋根・ステージ改修工事				
平 14	北校舎内装木質化工事				
平 18	ときがわ町立明覚小学校に改称(校旗新調)				
平 20	北校舎耐震補強及び大規模改造工事				
平 23	北校舎床再塗装工事				

平 24	体育館耐震補強及び大規模改造工事完了	平 25	体育館耐震補強及び大規模改造工事完了		
平 25	普通教室空調機器設置工事完了	平 27	特別教室棟耐震補強工事完了		
平 29	校舎全トイレ改修工事完了（自動洗浄機能付トイレ化及び乾式化）	平 29	校舎全トイレ改修工事完了（自動洗浄機能付トイレ化及び乾式化）		
令 2	学校運営協議会設置 プール改築工事完了	令 2	萩ヶ丘小学校床研磨 塗装工事（普通教室） 学校運営協議会設置		

中 学 校

都 幾 川 中 学 校		玉 川 中 学 校	
昭 45	大柵中学校、平中学校、明覚中学校の3校を統合し、都幾川中学校を設置する 校章制定	昭 22	開校式挙行、玉川小学校校舎の一部を専用教室として授業開始
昭 47	都幾川村大字桃木 50 番地に 3 階建新校舎及び技術棟落成	昭 26	現校玉川村大字玉川 1385 の 2 に落成、移転（校地面積 3,242 坪、校舎総坪数 448 坪）
昭 48	スクールバス導入	昭 44	体育館完成
	体育館落成 プール完成	昭 47	校歌制定 プール完成
昭 49	校歌、校旗制定記念式挙行	昭 53	新校舎鉄筋コンクリート 4 階建完成
昭 52	武道館完成	昭 57	校門完成
平 2	部室棟完成	昭 58	防球ネット・夜間照明完成
	校舎、体育館大規模改修	平 4	校舎増改築工事完了
平 4	ブロンズ像（考える人）設置		花壇・トイレ・舗装等外構工事完了
平 9	グラウンド改修工事	平 7	校庭西側防球ネット完成
平 10	防塵対策（散水設備）改修工事	平 8	体育館屋根外壁改修工事完成
平 11	体育館屋根修繕工事		さわやか相談室整備工事完成
平 16	技術科棟空調設備設置工事	平 13	校舎内装木質化工事完了
平 17	図書室空調設備設置工事	平 18	ときがわ町立玉川中学校に名称変更
平 18	ときがわ町立都幾川中学校に名称変更		新体育館完成
	校舎耐震補強及び大規模改造工事	平 19	校舎耐震化工事・外壁改修工事完了
平 21	校舎棟内装木質化工事	平 25	普通教室空調機器設置工事完了
	技術棟耐震及び大規模改造工事	平 28	屋内運動場照明設備 LED 化完了
平 22	屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事完了		音楽室空調機器設置工事完了
平 25	普通教室空調機器設置工事完了	平 29	校舎全トイレ改修工事完了（自動洗浄機能付トイレ化及び乾式化）
平 28	屋内運動場吊天井改修工事完了	平 30	東京オリンピック・パラリンピック教育実施校に認証
平 29	校舎全トイレ改修工事完了（自動洗浄機能付トイレ化及び乾式化）	令 2	学校運営協議会設置
平 30	都幾川中学校屋上防水改修工事		
令元	創立 50 周年記念行事		
平 2	国土交通大臣表彰受賞（道路美化） 学校運営協議会設置		

4 児童生徒数の推移

学 校 名		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
明 覚 小学校	児童数	3 1 3	3 0 2	2 8 2	2 7 7	2 5 6	2 3 2	2 0 7
	学級数	11 (2)	11 (2)	11 (2)	11 (2)	10 (2)	9 (2)	7 (1)
萩ヶ丘 小学校	児童数	9 2	8 5	7 9	6 4	6 3	5 5	5 3
	学級数	6 (2)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	5 (1)	5 (1)	5 (1)
玉 川 小学校	児童数	2 7 8	2 7 2	2 5 6	2 5 7	2 6 3	2 5 8	2 4 4
	学級数	10 (2)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (1)	10 (1)
都幾川 中学校	生徒数	2 3 5	2 3 1	2 1 6	2 0 1	1 8 8	1 8 6	1 8 9
	学級数	7 (2)	7 (3)	7 (3)	7 (3)	6 (3)	6 (3)	6 (4)
玉 川 中学校	生徒数	1 7 2	1 6 1	1 5 3	1 5 3	1 3 5	1 1 2	1 1 8
	学級数	6 (0)	6 (0)	6 (0)	6 (1)	5 (1)	4 (1)	4 (2)

※ () 内の数字は、特別支援学級の学級数を外数として表す

学 校 名		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
明 覚 小学校	児童数	1 8 7	1 8 7	1 7 9	1 6 5	1 6 5	1 6 5	1 7 1
	学級数	7 (1)	8 (1)	8 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (2)
萩ヶ丘 小学校	児童数	4 9	4 3	4 4	4 6	4 4	4 8	4 4
	学級数	4 (0)	4 (0)	5 (0)	4 (0)	5 (0)	5 (0)	4 (1)
玉 川 小学校	児童数	2 3 9	2 2 7	2 1 2	2 1 3	2 1 2	2 1 5	1 9 8
	学級数	10 (1)	9 (1)	7 (0)	8 (2)	8 (2)	9 (2)	8 (2)
都幾川 中学校	生徒数	1 8 3	1 6 2	1 4 3	1 2 6	1 1 3	1 0 4	1 0 0
	学級数	6 (3)	6 (3)	6 (2)	6 (2)	5 (2)	4 (1)	3 (1)
玉 川 中学校	生徒数	1 2 9	1 3 4	1 3 3	1 2 3	1 1 7	1 1 0	1 1 6
	学級数	5 (2)	6 (1)	6 (2)	5 (2)	4 (2)	4 (2)	5 (2)

※ () 内の数字は、特別支援学級の学級数を外数として表す

4月3日現在

学 校 名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
明 覚 小学校	児童数	1 6 7	1 5 3					
	学級数	6 (2)	6 (2)					
萩ヶ丘 小学校	児童数	4 5	4 5					
	学級数	4 (1)	4 (1)					
玉 川 小学校	児童数	1 9 1	1 8 5					
	学級数	7 (2)	7 (2)					
都幾川 中学校	生徒数	1 0 4	1 1 3					
	学級数	3 (2)	4 (2)					
玉 川 中学校	生徒数	1 1 4	1 0 6					
	学級数	5 (2)	4 (2)					

※ () 内の数字は、特別支援学級の学級数を外数として表す

5 小学校の紹介

ときがわ町立明覚小学校

明治6年創立



校長 林 雄一
教頭 西條 宏実

教職員数 22名
県費15名 町費0名
町費臨時職員5名ALT1名SSW1名
在籍児童数 153名
学級数 8学級(特別支援学級2学級を含む)

〒355-0356
ときがわ町大字関堀 65 番地
電話 0493-65-0373
Fax 0493-65-3035
myokakusho@town.tokigawa.lg.jp

学校教育目標

・ ① るい子 (徳) ・ ② ながえる子 (知) ・ ③ じけない子 (体)

目指す学校像

3つの「全力」が輝く学校 (絆の全力・静の全力・動の全力)

目指す児童像

・ 明るい子 ・ かながえる子 ・ くじけない子

今年度の重点

- 3つの「全力」が輝く学校づくり
- (1) 明るいあいさつと元気な返事の習慣化
- (2) 基礎・基本となる知識・技能と学習習慣の定着
- (3) 一度止まって正しい判断と行動 (自己指導能力の育成)
- (4) 学校行事や縦割り行事、体験活動の充実
- (5) 外遊びと体育授業の充実
- (6) 家庭・地域・関係機関との連携

学校研究課題

数学的な考えを深め、表現できる児童の育成
～思考力・判断力の育成と指導法の工夫～

ときがわ町立萩ヶ丘小学校

平成 16 年創立



校長 羽太 高裕
教頭 福島 幸江

教職員数 16 名

県費 11 名 町費 2 名

町費臨時職員 2 名

A L T 1 名

在籍児童数 45 名

学級数 5 学級 (特別支援学級 1 学級を含む)

〒355-0364

ときがわ町大字西平 1153 番地

電話 0493-67-0019

Fax 0493-67-1755

hagigaokasho@town.tokigawa.lg.jp

学校教育目標

- ・はつらつとがんばる子 (徳)
- ・疑問をもって学習する子 (知)
- ・心身ともに健康でねばり強い子 (体)

目指す学校像

元気いっぱい活動し、笑顔あふれる学校

～学校、家庭、地域が連携した「チーム萩小」による教育の推進～

目指す児童像

心豊かで たくましく生きる子

本年度の重点

【豊かな心の育成 (徳)】

- ・あいさつ運動の推進
- ・縦割り活動の充実
- ・清掃指導、整理整頓の充実 (5S)
- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の充実
- ・特別支援教育の充実

【学力向上 (知)】

- ・個に応じた指導
- ・ICT を効果的に活用した授業実践
- ・学習規律の徹底
- ・学習習慣の確立
- ・基礎基本の定着
- ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
- ・家庭学習の充実
- ・読書活動の奨励

【心身の健康・体力の向上 (体)】

- ・健康教育の推進
- ・体力の向上
- ・食育の推進
- ・安全教育の推進

学校研究課題

基礎基本を身に付け、自らの考えを表現できる児童の育成

～わかる楽しさを実感できる算数科の指導の工夫 (ICT を活用して) ～

ときがわ町立玉川小学校

明治6年創立



校長 栗田 秀人
教頭 萩原 幹夫

教職員数 24名
県費14名 町費2名
町費臨時職員5名 非常勤講師1名
ALT1名 SSW1名
在籍児童数 185名
学級数 9学級 (特別支援学級2学級を含む)

〒355-0342
ときがわ町大字玉川 2666 番地
電話 0493-65-1529
Fax 0493-65-4853
tamagawasho@town.tokigawa.lg.jp

学校教育目標

・進んで学ぶ子（知） ・助け合う子（徳） ・元気な子（体）

目指す学校像

児童一人一人のよさを認め、育み、伸ばすとともに、保護者・地域の信頼にこたえる学校

○児童

- ・学ぶ意欲を育む学校
- ・挨拶の通い合う学校
- ・すべての子供の「よさ」を認める学校
- ・安全で安心できる学校

○保護者・地域

- ・地域に根ざした教育の実践と地域社会への奉仕
- ・家庭と学校の役割分担と協力
- ・子供たちの安心・安全の確保
- ・歌声の響く学校

目指す児童像

- ・自ら学ぶ意欲を持って、一步一步努力する子
- ・目標に向かって、真面目に、そして誠実に取り組む子
- ・自分の存在に自信を持てる子
- ・元気で、健康な身体作りに取り組める子
- ・心のこもった挨拶・返事、言葉遣いが正しく
できる子

本年度の重点

- （1）【確かな学力の定着（知）（体）】・学び合い学習の実施・少人数学習・習熟度別学習の実施（読み、書き、計算、暗唱、音読の充実）・玉ちゃんノートの活用（家庭学習習慣の確立）・外国語活動の充実
- （2）【豊かな心の育成（徳）（体）】・児童の自己肯定感を育む学校生活の充実（褒める・認める・選択させる）・情報モラルに関する指導の充実
- （3）【専門性・人間性を高める職員研修】・自己評価シートの作成と活用（具体的な取組の設定とその実践）
- （4）【保護者、地域社会の期待に応える実践（家庭、地域との連携）】学校応援団の整備・充実（見守り活動の充実）・地域の教育力の活用（学校応援団、学校支援ボランティア）
- （5）【教育環境の整備・充実】
 - ・花と緑の潤いのある環境づくり・通学班による年1回のごみ拾い活動
- （6）【安全・安心な学校づくり】・命を守ることを最優先にした避難訓練の実施・定期的な安全点検による校内危険箇所の早期発見と修繕の実施・登下校の交通安全及び不審者対応（見守り隊との連携他）

学校研究課題

「読む」力を高める国語指導の工夫 ～読む楽しさを味わい、読書に親しむ児童の育成～

6 中学校の紹介

ときがわ町立都幾川中学校

昭和45年創立



校長 野口 千津子
教頭 中島 慎二
教職員数 25名

県費16名 非常勤3名
町費臨時職員2名 さわやか相談員1名
ALT2名 SC1名

在籍生徒数 113名
学級数 6学級 (特別支援学級2学級を含む)

〒355-0361

ときがわ町大字桃木50番地

電話 0493-65-0155

Fax 0493-65-2146

tokigawachu@town.tokigawa.lg.jp

学校教育目標【目指す生徒像】

- 進んで学びあう生徒 学ぶ (知) ○思いやりのある生徒 磨く (徳)
- たくましい生徒 鍛える (体)

目指す学校像

○生徒が学んでよかった 保護者が通わせてよかった 教職員が勤めてよかったと思える学校

本年度の重点

- 学力の向上
 - ・授業力の向上 ・授業規律の確立 ・学習意欲向上に向けた環境づくり
 - ・指導方法の工夫改善 ・調査結果等の効果的な活用 ・補習学習等の充実・工夫 ・「自主学習ノート」の充実
- 豊かな心の醸成
 - ・全教育活動を通しての道德教育 ・積極的な生徒指導の推進
 - ・創意工夫のある学校づくり ・都幾中プライドの推進 ・読書活動の推進
 - ・部活動の充実 ・地域活動等への積極的な参加
- 健康の保持・増進
 - ・安全・安心な学校づくり ・交通安全指導の徹底・充実
 - ・基本的な生活習慣の確立 ・清掃活動の充実 ・健康な生活に向けた取組
 - ・保健体育授業の充実 ・体調不良・ケガ等への迅速・適切な対応
- 学校・家庭・地域の連携
 - ・防災学習の推進 ・ボランティア活動の推進 ・小中の連携 ・学校運営協議会の推進

学校研究課題

学びをすすめる教育活動の推進 ～見える化・発信を意識した取組2～

ときがわ町立玉川中学校

昭和22年創立



校長 山崎 則枝
教頭 矢島 孝行

教職員数 27名

県費17名 非常勤3名

町費臨時職員4名(内さわやか相談員1名)

ALT2名 SC 1名

在籍生徒数 106名

学級数 6学級(特別支援学級2学級を含む)

〒355-0342

ときがわ町大字玉川 1385 番地 2

電話 0493-65-1528

Fax 0493-65-4852

tamagawachu@town.tokigawa.lg.jp

学校教育目標

～自信と誇りを持って行動できる生徒の育成～

進んで学ぶ生徒(知)

思いやりのある生徒(徳)

心身共にたくましい生徒(体)

目指す学校像

笑顔と優しさのあふれる玉川中学校

- ・意欲を持って挑戦する学校
- ・心の絆を強く結ぶ学校
- ・心遣いが見える開かれた学校

目指す生徒像

自信と誇りを持って行動できる生徒

- ・失敗をおそれず、ねばり強く挑戦する生徒
- ・自分の良さを理解し、自信を持って何事にも進んで取り組む生徒
- ・礼節と感謝を重んじ、相手を思いやることのできる生徒
- ・豊かな人権感覚を持ち、よりよい人間関係のもと、互いに協力し合える生徒
- ・進んで体を鍛え、自らの健康・体力を高めていける生徒

本年度の重点

- ・学力向上の推進
- ・協働体としてベクトルを合わせた生徒指導の充実
- ・学級経営の充実
- ・自治活動の推進
- ・特別支援教育の推進

学校研究課題

自ら学び意欲的に取り組む生徒の育成

～非認知能力を高めることによる学力の向上～

7 学校給食センターの紹介



住 所	〒355-0361 ときがわ町大字桃木 39 番地 1
電 話	0493-65-0014
FAX	0493-65-0049

実施状況

・調理様式	センター方式（小学校・中学校）		
・給食費（月額）	小学校 3,900円	中学校 4,600円	
・一食当たりの単価	小学校 230円	中学校 270円	
・実施予定回数	小学校 189日	中学校 190日	
・一日当たりの調理食数	695食		

職員配置状況

・所長	1名【町職員】
・事務員	1名【町職員】
・栄養技師	1名（県費負担職員）
・調理員	8名（町会計年度任用職員）

学校給食予算

歳入

単位：千円

科 目	前年度予算	本年度予算	備 考
給食費収入	32,802	32,042	
小学校児童教職員給食費負担金	19,966	19,122	人数×3,900円×11月
中学校生徒教職員給食費負担金	12,836	12,920	人数×4,600円×11月

歳出

単位：千円

科 目	前年度予算	本年度予算	備 考
賄材料費	34,883	33,847	人数×3,900円×11月(小学校) 人数×4,600円×11月(中学校) 講師等、物価変動分、給食充実事業分

8 関口茂八奨学金制度

この奨学金制度は、ときがわ町出身の関口茂八氏の寄付により始まったもので、経済上の理由により就学が困難な方を対象に奨学金を貸与し、社会に有用な人材を育成することを目的としています。



対象となる方

下記のいずれにも該当する方が対象です。

- ・申請時にときがわ町に住所を有する方（就学のための転出は除く。）
- ・学校教育法に基づく各種学校に確実に入学の意思を有する方、入学決定又は在学中の方
- ・勉学の意欲がある方
- ・在学する学校長又は出身学校長が推薦する方
- ・経済上の理由により、学費の支出が困難な方

貸与額

区分	普通奨学資金 (年額)	特別奨学資金 (入学準備金)
高等学校	120,000円	100,000円
大 学	240,000円	300,000円
大学(短大)	240,000円	160,000円
大学(医科・歯科・薬科)	600,000円	1,500,000円
高等専門学校	240,000円	120,000円
専修学校・各種学校(高等課程)	120,000円	100,000円
専修学校・各種学校(専門課程)	240,000円	160,000円

返 還

卒業後、1年間据え置き、その後、貸与を受けていた期間の2倍の期間内で返還していただきます。

条例に基づく免除職に勤務した場合、在職期間に応じて奨学資金の返還を最大で半額免除することができます。

III 生涯學習

1 第二次ときがわ町生涯学習推進計画

1 計画の趣旨

生涯学習は、個人が自らの人生を意義あるものとするために行う学習のみならず、社会教育や学校教育において行われる多様な学習活動を含め、あらゆる機会・あらゆる場所を利用して、その生涯にわたって自主的・自発的に行うことを基本とした学習活動です。

また、生涯学習は、一人ひとりの人生を生きがいのある充実したものにするだけでなく、学びを通して人と人とがつながり、お互いに尊重しあい、交流を深めながら、生涯にわたり豊かな暮らしを支える大きな役割を果たすことが期待されています。

町では、第一次ときがわ町総合振興計画に基づき、平成21年3月に第一次となるときがわ町生涯学習推進計画を策定し、「生涯を通じた学びと伝統の継承の上に、新たな地域文化を築く」を基本理念とした生涯学習施策の推進に取り組んできました。

平成31年3月で計画の期間が終了することから、これまで取り組んできた施策を評価し、その成果を活かしながら、町民の学習ニーズを捉えた生涯学習活動の推進と支援をさらに充実させるため、町の上位計画である第二次ときがわ町総合振興計画との整合性を図り、「第二次ときがわ町生涯学習推進計画」を策定しました。

2 計画の性格

- この計画は、町の将来像を『人と自然の優しさにふれるまち ときがわ』と掲げた「第二次ときがわ町総合振興計画」を最上位計画とする生涯学習の部門計画として位置づけられるものです。
- この計画は、町民の生涯学習の取組に対する町の支援策を明示する計画であり、生涯学習社会の進展に向けて取り組む基本的な行政指針となるものです。
- この計画は、町民が自己実現を目的とした生涯学習活動を推進するために、目標の設定や手法の検討を行う際に参考となるとともに、その積極的な活動を促すことを目的とするものです。
- この計画は、社会経済状況等の変化に柔軟に対応して、適切な見直しを行い、改善を図っていくものです。

3 計画の期間

この計画の期間は、令和元年度から令和10年度までの10年間とします。

なお、総合振興計画の見直し時には、これに対応して計画の見直しを行うこととします。

2 生涯学習の基本的な考え方

第二次ときがわ町総合振興計画では、町の将来像を「人と自然の優しさにふれるまち ときがわ」と掲げています。これは、第一次計画を継承したものとなっています。

第二次ときがわ町生涯学習推進計画の基本的な考え方においても第一次計画を継承し、これからの10年間は、これまでの取組にさらに磨きをかけ、町民一人ひとりの意欲に応じた学習やスポーツ・レクリエーションの機会を充実させるとともに、世代間交流を通じた伝統・文化の保全・継承を進める一方で、町民の生涯を通じた学びの中で紡ぎ出される新たな地域文化の創造を支援していきます。

〈 基本理念 〉

生涯学習を通じた学びと
伝統の継承の上に、
新たな地域文化を築く

〈 基本目標 〉

- ◆ ふるさと意識の醸成
- ◆ 多様化するライフスタイルへの対応
- ◆ 豊かな長寿社会の実現
- ◆ 家庭・学校・地域の連携
- ◆ 読書活動の推進



堂平天文台「星と緑の創造センター」から望む関東平野

3 生涯学習施策の展開

生涯学習施策の体系

1 生涯学習のきっかけを提供する＜きっかけづくり＞

- (1) 今日的課題に対応した学習機会の提供
- (2) 読書活動の推進
- (3) 生涯学習のための総合的な情報提供

2 生涯学習の取組を支援する＜活動の支援＞

- (1) 文化団体・スポーツ団体の運営支援
- (2) コミュニティ活動・ボランティア活動の支援
- (3) 個人・サークル活動の支援
- (4) 学習が困難な人への学習の支援
- (5) 指導者・リーダーの育成支援
- (6) 情報発信の支援
- (7) 学校を拠点とした連携支援
- (8) 文化協会・体育協会の運営支援
- (9) 有識者・高等教育機関等の活用支援

3 生涯学習の環境を整備する＜施設の充実＞

- (1) 生涯学習施設の運営
- (2) 既存施設の有効活用
- (3) 施設運営の効率化
- (4) 施設情報の発信

4 生涯学習の成果を活用する＜学習成果の活用＞

- (1) 文化イベント・スポーツ大会の実施
- (2) 周辺市町村等との連携
- (3) 学習成果を発揮できる環境の醸成



計画の実現に向けて＜計画のマネジメント＞

- (1) 全町一体となった生涯学習推進体制の構築
- (2) 生涯学習推進計画の進捗管理

1 ときがわ町の文化財

国指定文化財

有形文化財	建造物（重要文化財）	慈光寺開山塔
	書跡・典籍（国宝）	法華經一品經・阿弥陀經・般若心經（慈光寺）
	書跡・典籍（重要文化財）	紙本墨書大般若經（慈光寺）
	工芸品（重要文化財）	銅鐘（慈光寺）
	工芸品（重要文化財）	金銅密教法具（慈光寺）
記念物	史跡	比企城館跡群小倉城跡（ときがわ町、個人所有）

県指定文化財

有形文化財	絵画	絹本着色徳川家康画像（慈光寺）
	絵画	絹本着色天海僧正画像（慈光寺）
	彫刻	木造聖僧文殊坐像（慈光寺）
	彫刻	木造宝冠阿弥陀如来坐像（慈光寺）
	彫刻	木造千手観音立像（慈光寺）
	工芸品	経箱（慈光寺）
	彫刻	鉄造阿弥陀如来坐像（靈山院）
	彫刻	木造阿弥陀如来坐像（龍福寺）
	考古資料	蔵骨器 付慈光寺開山塔出土品一括
	考古資料	青石塔婆（慈光寺）
	考古資料	板石塔婆（慈光寺）
民俗文化財	無形民俗文化財	萩日吉神社神楽
	無形民俗文化財	萩日吉神社のやぶさめ
	無形民俗文化財	大野の送神祭
記念物	史跡	多武峯瓦塔遺跡 付出土瓦塔片一括
	史跡	亀の原窯跡群（ときがわ町、個人所有）
	天然記念物	タラヨウジュ（慈光寺）
	天然記念物	萩日吉神社社叢
	天然記念物	カヤ（西平施業林組合）
	天然記念物	三境のヒカリゴケ自生地（西平施業林組合）
	天然記念物	道元平ウラジロ群落（田黒 個人所有）

町指定文化財

有形文化財	建造物	慈光寺観音堂
	絵画	肖像画（明覚小学校 町教委寄託）
	彫刻	木造十一面観音菩薩立像（慈光寺）
	彫刻	木造観音菩薩坐像（慈光寺）
	彫刻	木造勢至菩薩坐像（慈光寺）
	彫刻	日吉山王七社版木（慈光寺）
	彫刻	銅造阿弥陀如来立像（円通寺 県立歴史博寄託）
	彫刻	木造毘沙門天頭部（龍福寺）
	彫刻	木造観音菩薩坐像（多武峯）
	彫刻	木造天狗面（多武峯）
	工芸品	鰐口（慈光寺）
	工芸品	鰐口（多武峯）
	絵画	紙本着色墨書役行者絵巻（多武峯）
	考古資料	伝曾我十郎祐成供養塔（龍福寺）
	考古資料	円通寺板碑群
	考古資料	多武峯板碑群
	古文書	戸口家文書（梶平 個人蔵）
	古文書	前田利家禁制（光明寺）
	古文書	上田長則寺中掟（東光寺）
	古文書	上田憲定寺中掟（東光寺）
	古文書	慶長検地帳（日影 個人蔵）
	歴史資料	切支丹制札（玉川 個人蔵）
	歴史資料	遠山衛門大夫藤原光景室華園位牌（大福寺）
	歴史資料	日影村絵図（日影 個人蔵）
民俗文化財	有形民俗文化財	日本狼頭蓋骨（西平 個人蔵）
	無形民俗文化財	雷電神社ささら獅子舞
	無形民俗文化財	日枝神社ささら獅子舞
	無形民俗文化財	萩日吉神社付属上サ地区ささら獅子舞
	無形民俗文化財	西平屋台囃子
	無形民俗文化財	大野神社ささら獅子舞
	無形民俗文化財	稲荷神社ささら獅子舞
	無形民俗文化財	一ト市祭り囃子

記 念 物	史跡	玉川陣屋跡（玉川 個人所有）
	天然記念物	児持杉（萩日吉神社）
	天然記念物	リンボク（龍福寺）
	天然記念物	銀杏（関堀 個人所有）
	天然記念物	姥櫓（櫛平 個人所有）
	天然記念物	七重ヤマザクラ （大野 個人所有）



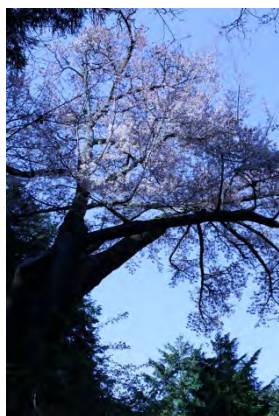
国指定有形文化財（国宝）
法華經一品經・阿弥陀經・般若心經
（慈光寺）



国指定史跡
比企城館跡群 小倉城跡



県指定無形民俗文化財
萩日吉神社のやぶさめ



町指定天然記念物
七重ヤマザクラ



県指定有形文化財
木造阿弥陀如来坐像
（龍福寺）

2 生涯学習団体

種別	団体数		主な活動テーマ
	加盟団体	未加盟団体	
文化団体 (文化協会)	11	39	絵画、書道、写真、陶芸、手工芸、音楽、芸能、茶道、着付け、パソコン、体操、社交ダンス、フラダンス等
スポーツ団体 (スポーツ協会・ スポーツ少年団)	27	27	インディアカ、バレーボール、ソフトバレーボール、ソフトボール、野球、サッカー、硬式テニス、ソフトテニス、バドミントン、柔道、剣道、空手道、バスケットボール、卓球、陸上、ゴルフ、グランドゴルフ、山岳、スキー、スケート、レクリエーション 等
合計	38	66	

※文化施設、体育施設に利用登録している団体数

3 生涯学習施設（体育施設・文化施設・図書館・図書室）

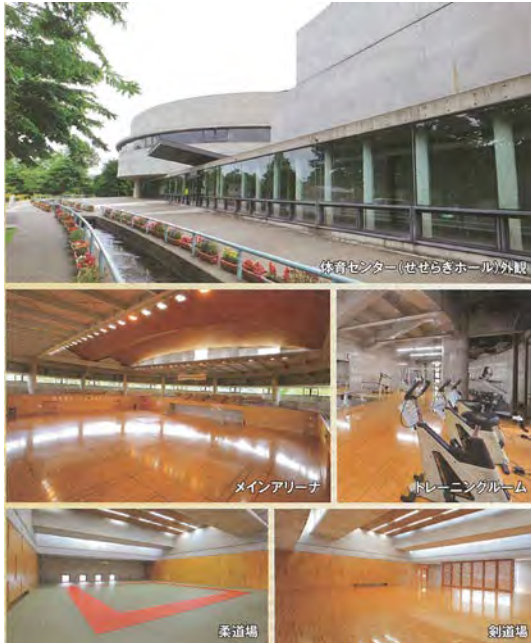
区分	番号	名 称	区分	番号	名 称
体育施設	1	体育センター (せせらぎホール)	文化施設	1	文化センター (アスピアたまがわ)
	2	玉川トレーニングセンター		2	玉川公民館
	3	玉川運動場		3	都幾川公民館
	4	西平運動場	図書館	1	ときがわ町立図書館
	5	本郷第一球場	図書室	1	都幾川公民館図書室
	6	本郷第二球場			

体育センター(せせらぎホール)

メインアリーナはときがわ町最大。
各種トレーニングや武道もできる！

お問い合わせ 体育センター TEL0493-65-3830(直) fax0493-65-3839 **所在地** 〒355-0356 ときがわ町大字関堀 148 番地 1

アクセス 東武東上線「武蔵嵐山駅」「小川町駅」「越生駅」→ときがわ町路線バス「せせらぎバスセンター行」乗車→せせらぎバスセンター下車すぐ



○体育センター(せせらぎホール)

施設概要	体育館棟	1 階	アリーナ バスケットボールコート／2 面 バレーボールコート／3 面 バドミントンコート／8 面 卓球台／10 台 トレーニングルーム 幼児トレーニングルーム 身障者観覧席、身障者用トイレ ロッカー、シャワールーム
		2 階	観覧席／480 席 ジョギングサークル／170m
	管理・武道館棟	1 階	会議室、男女更衣室、休憩所、事務室
		2 階	柔道場、剣道場
使用期間	平日・土日・祝日／午前9時～午後9時30分 ※個人利用は2時間を限度とします。		
休館日	●毎月第4月曜日(ただし、その日が祝日にあたる場合は、その翌日) ●年末年始(12月28日～1月4日)その他、管理上必要に応じて変更または臨時に休館することがあります。		

○使用料

個人利用 (1時間30分あたり)		料金
体育センター	町内 児童・生徒・60歳以上	100円
	町内 一般	200円
	町外 児童・生徒・60歳以上	200円
	町外 一般	400円

①西側駐車場/110台
(内障害者用2台)

玉川トレーニングセンター

アクセスの良さも人気の一つ！
体育目的以外にも使用できる施設です。

お問い合わせ TEL0493-65-1521(代表) **所在地** 〒355-0395 ときがわ町大字玉川 2508 番地

アクセス 東武東上線「武蔵嵐山駅」→ときがわ町路線バス「明覚駅経由せせらぎバスセンター行」または「十王堂前経由せせらぎバスセンター行」乗車→「ときがわ町役場本庁舎」バス停下車徒歩2分



○玉川トレーニングセンター

施設概要	1 階	アリーナ バスケットボールコート／1 面 バレーボールコート／2 面 バドミントンコート／6 面
	2 階	卓球室 卓球台／5 台 会議室
使用期間	平日・土日・祝日／午前9時～午後5時	
休館日	●年末年始(12月28日～1月4日)その他、管理上必要に応じて変更または臨時に休館することがあります。毎月第1月曜日	

○使用料／一般体育目的利用の場合

		午前	午後
体育館	アリーナ全面	1,000円	1,500円
	バレーコート／1面	500円	800円
	バドミントンコート／1面	300円	400円
卓球室	卓球台／1卓	200円	200円
会議室		300円	500円

○使用料／体育目的以外に利用の場合

	午前	午後
アリーナ	10,000円	15,000円
卓球室	1,000円	1,500円
会議室	1,000円	1,500円

○使用料／文化活動に利用する場合

	午前	午後
アリーナ	5,000円	7,500円
卓球室	500円	800円
会議室	500円	800円

①正面駐車場/障害者用1台 ②地下駐車場/68台

玉川運動場

陸上競技にも適した玉川運動場、
ジョギングサークルは緑の中を走る人気コースです。

お問い合わせ 体育センター TEL0493-65-3830(直) fax0493-65-3839 **所在地** 〒355-0342 ときがわ町大字玉川 882 番地

アクセス

東武東上線「武蔵嵐山駅」→ときがわ町路線バス「明覚駅経由せせらぎホール行」乗車→「原」バス停下車徒歩5分
※「十王堂前経由せせらぎバスセンター行」は、「原」バス停を通過しません。



○玉川運動場

施設概要	野球／1面 ※硬式野球は使用できません ソフトボール／3面 陸上200mトラック／1面 ジョギングサークル／450m
------	---

○使用料

	利用者	利用時間	料金
野球場／1面につき	町内	半日につき	2,000円
ソフトボール場／1面につき	町外		4,000円

① ①駐車場／60台（内障害者用2台） ②臨時駐車場／71台

西平運動場

野球、ソフトボール、サッカーのプレイはもちろん
人工芝のテニスコート4面を完備した運動場。

お問い合わせ 体育センター TEL0493-65-3830(直) fax0493-65-3839 **所在地** 〒355-0364 ときがわ町大字西平 945 番地1

アクセス

東武東上線「武蔵嵐山駅」「小川町駅」「越生駅」→
ときがわ町路線バス「せせらぎバスセンター行」乗車→せせらぎバスセンター「竹の谷行」乗換→「西平運動場入口」バス停下車徒歩5分



○西平運動場

施設概要	野球／1面 ※硬式野球は使用できません ソフトボール／3面 サッカー（大）／1面 サッカー（小）／2面 人工芝テニスコート／4面
------	--

○使用料

	利用者	利用時間	料金
テニスコート	個人・団体	1面／2時間につき	500円
グラウンド	団体	全面／半日につき	3,000円
ソフトボール場／1面につき	団体	1面／半日につき	2,000円

① ①管理棟前／15台 ②外周道路脇／43台 ③上部砂利駐車場／21台

本郷球場

ナイター照明完備！！一日中スポーツを楽しめます。
第一、第二が隣接した便利な球場です。

お問い合わせ 体育センター TEL0493-65-3830(直) fax0493-65-3839 **所在地** 〒355-0353 ときがわ町大字本郷 903 番地1

アクセス

東武越生線「越生駅」→ときがわ町路線バス「せせらぎバスセンター行」乗車→せせらぎバスセンター「都幾川四季彩館行」乗換→「本郷上」バス停下車徒歩5分



○本郷第一球場

施設概要	野球／1面 ※硬式野球は使用できません ソフトボール／1面
------	-------------------------------------

○使用料

	種別	利用時間	料金
グラウンド	団体	半日につき	2,000円
照明施設	町内	30分につき	500円
照明施設	町外	30分につき	1,000円

① ①第一球場／15台

○本郷第二球場

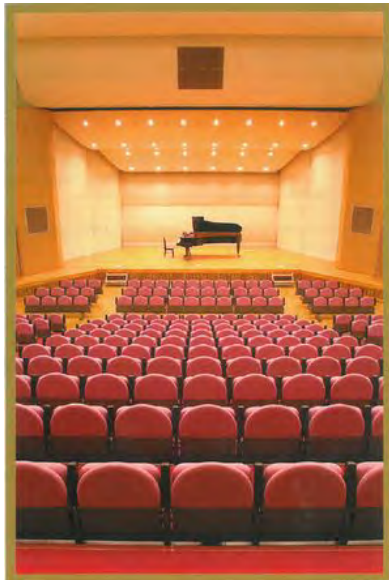
施設概要	ソフトボール／1面 サッカー／1面
------	----------------------

○使用料

	種別	利用時間	料金
グラウンド	団体	半日につき	2,000円

① ①第二球場／10台

文化センター（アスパiaたまがわ）



〒355-0395
ときがわ町大字玉川2510
電話 0493-65-4858
fax 0493-65-4894

利用時間	ときがわ町文化センター	9:00～21:30
	三栖右嗣リトグラフ展示室	9:00～17:00
休館日	毎週月曜日・祝日 1月2日～4日 12月28日～31日 臨時休館日	
施設概要	■敷地面積 /2,757.42平方メートル ■建築面積 /1,692.73平方メートル ■延床面積 /2,993.34平方メートル ■地下駐車場 /1,449.28平方メートル ■構造規模 ・鉄筋コンクリート造り ・地下1階地上3階建(ホール部分) ■施設 ・大ホール304席 ・舞台(間口11m 奥行9m 高さ7m) ・楽屋2室 ・展示ホール ・会議室兼小ホール(15.3m×12.3m) ・図書館(資料室含む) ・三栖右嗣リトグラフ展示室	



玉川公民館



開館時間	9:00～21:30
休館日	毎月第1月曜日・祝日 1月2日～4日 12月28日～31日
利用部屋	[1階] 視聴覚室、会議室、研修室 [2階] 講堂、講義室、和室
住所	〒355-0342 ときがわ町大字玉川2485番地
電話	0493-65-3795(直通)
FAX	0493-65-4851

○使用料

	室名	9:00～12:00	12:00～13:00	13:00～17:00	17:00～21:30	9:00～21:30
1階	研修室	300 円	100 円	500 円	700 円	1,200 円
	視聴覚室	500 円	166 円	700 円	1,000 円	1,800 円
	会議室	300 円	100 円	500 円	700 円	1,200 円
2階	講義室	300 円	100 円	500 円	700 円	1,200 円
	和室	200 円	66 円	300 円	500 円	800 円
	講堂	4,000 円	1,333 円	5,000 円	7,000 円	13,000 円

※利用者の半数以上が町内在住・在勤・在学のいずれでもない場合上記の倍額

都幾川公民館



開館時間	9:00～21:30
休館日	毎月第1月曜日・祝日 1月2日～4日 12月28日～31日
利用部屋	[1階] 視聴覚室 [2階] 和室、会議室、第1研修室、 第2研修室 [3階] 講座室
住所	〒355-0396 ときがわ町大字桃木32番地
電話	0493-65-2656(直通)
FAX	0493-65-1510

○使用料

	室名	9:00～12:00	12:00～13:00	13:00～17:00	17:00～21:30
1階	視聴覚室	500 円	166 円	700 円	1,000 円
2階	和室	200 円	66 円	300 円	500 円
	会議室	300 円	100 円	500 円	700 円
	第1研修室	300 円	100 円	500 円	700 円
	第2研修室	300 円	100 円	500 円	700 円
3階	講座室	5,000 円	1,666 円	7,000 円	10,000 円

※利用者の半数以上が町内在住・在勤・在学のいずれでもない場合上記の倍額

ときがわ町立図書館



開館時間	火・金・土・日:9:00～17:00 水・木:9:00～18:00
休館日	毎週月曜日・祝日 1月2日～4日 12月28日～31日 臨時休館日
貸出冊数 期間	1人:図書・雑誌を10冊、紙芝居を 5点、ビデオ・DVDを2本まで15日 間借りられます。
蔵書点数	94,712点(冊)(令和3年4月1日現在)
住所	〒355-0342 ときがわ町大字玉川2510番地 (ときがわ町文化センター内)
電話	0493-65-4858(直通)
FAX	0493-65-4894

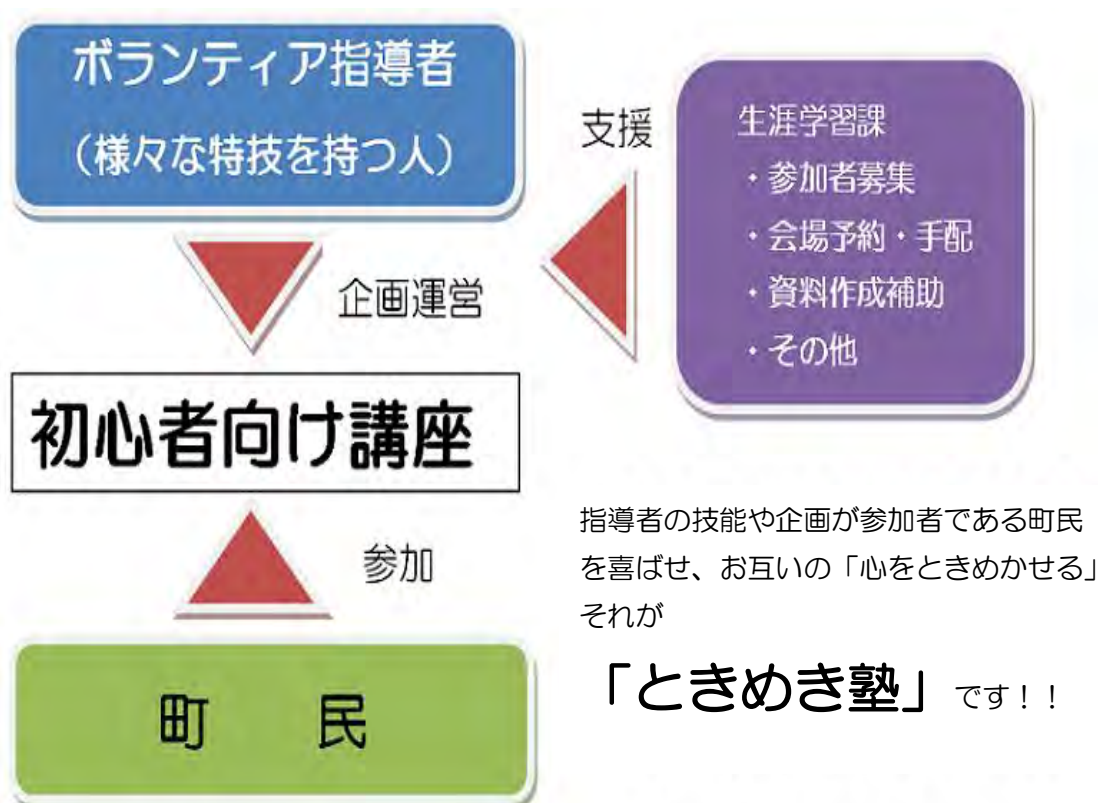
都幾川公民館図書室



開館時間	火～日: 9:00～17:00
休館日	毎週月曜日・祝日 1月2日～4日 12月28日～31日
貸出冊数 期間	1人:図書・雑誌・紙芝居を5点ま で、15日間借りられます。
蔵書点数	20,801点(冊)(令和3年4月1日現在)
住所	〒355-0396 ときがわ町大字桃木32番地 (都幾川公民館内)
電話	0493-65-1521(代表)
FAX	0493-65-1510

4 ときめき塾

「ときめき塾」とは、主に高校生以上の参加者を対象として、町民の皆さんが気軽にチャレンジできる様々な初心者向けの講座を、色々な特技をお持ちのボランティア指導者の方々に提供していただくものです。



5 放課後子供教室

ときがわ町では「新・放課後子ども総合プラン」における放課後等の子どもを対象とした学習や体験・交流活動などを行う事業として、放課後子供教室を実施しています。

新・放課後子ども総合プランとは…

共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、文部科学省と厚生労働省が協力し、一体型を中心とした放課後児童健全育成事業「放課後児童クラブ」及び地域住民等の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として学習や体験・交流活動などを行う事業「放課後子供教室」の計画的な整備等を進めるものです。

教室名	活動日時	活動場所	対象児童
萩ヶ丘いきいき教室	給食がある日の放課後 ～16時 (12月・1月は15時45分まで)	萩ヶ丘小学校内	萩ヶ丘小学校1年生以上



「萩いき野球」の活動状況

6 子ども大学ときがわ

子ども大学の概要

子ども大学は、2002年にドイツのチュービンゲン大学で始まり、ヨーロッパに広がりました。2009年（平成21年）3月には、日本で初めて「子ども大学かわごえ」が誕生しました。

埼玉県では、この取組をモデルとして平成22年度から、子どもの学ぶ力や生きる力を育むとともに、地域で地域の子どもの育てる仕組みを創るため、子ども大学の開校を推進しており、現在は県内全域に広がっています。

各子ども大学では、大学のキャンパス等を会場に、大学教授や地域の専門家等が講師となり、子どもの知的好奇心を刺激する講義や体験活動が行われています。

子ども大学のテーマ

- | | |
|-----------|--------------------|
| 《 はてな学 》 | ものごとの原理やしくみを追及 |
| 《 ふるさと学 》 | 地域を知り郷土を愛する心を育てる |
| 《 生き方学 》 | 自分を見つめ人生や将来について考える |

子ども大学ときがわ

ときがわ町では、平成27年度から「子ども大学ときがわ」を開校し、主に地域の専門家に講師を依頼して、ときがわ町在住の小学生の知的好奇心を刺激する学びの機会を提供するとともに、地域で子どもを育てる仕組みを創ることを目指しています。



埼玉県伝統工芸土谷野裕子さんによる
和紙づくりの講義



和紙づくりを体験しよう！
トロロアオイを入れる前後の違いをみよう

7 ふれあい・ときがわ

子どもたちが、都幾川・雀川の清らかな水、緑豊かな里山と森林、歴史ある町の文化を学ぶことは、郷土への誇りや愛着の醸成につながることから、ときがわの魅力を守り・育て・発信する学習は大変重要です。

「ふれあい・ときがわ」は、子どもたちが体験活動でのふれあいを通して、お互いの友情を深めるとともに郷土ときがわを愛する心を培っていくことを目的に実施しています。

- 《対 象》 町立小学校1年生から6年生の児童
- 《実施回数》 年4回
- 《活動内容》 ①堂平天文台で採れた地元のブルーベリーを使用した「ブルーベリージャム作り、ホットケーキ作り」
②災害時等にも役立つ「飯盒炊飯体験、キーマカレー作り」
③慈光寺や霊山院をめぐる「文化財学習」
④年のはじめに1年の抱負や目標を書く正月行事の「書初め体験」

8 夏休み子ども学習室

長期の休みが続く夏季休業中は、生活習慣の乱れや暑さのため学習への意欲が低下するなど、児童によっては家庭学習が順調に進まないこともあります。

そこで、涼しい場所で相談・支援できるボランティア指導員を配置し、児童が自分の学習を主体的に進める環境を用意し、自己の学習課題に取り組み学校の宿題を終わらせるなど、児童の学習の場「夏休み子ども学習室」を開設しています。

- 《対 象》 町立小学校1年生から6年生の児童
- 《実施回数》 都幾川公民館・玉川公民館 各4日間 13:30～16:00
- 《指 導 者》 元教員の方などボランティア指導者
- 《学習内容》 ①夏休みの宿題や自由研究など自主的な学習を支援・指導します。
②児童からの質問に答えたり気づいたりしたことを教えます。
③学習の計画がない児童には、自習用のプリントを用意し、学習指導を行うなど学習への示唆を与えます。

IV 教育関係施設等 内装木質化

町産の木材による内装木質化＋耐震改修による環境整備

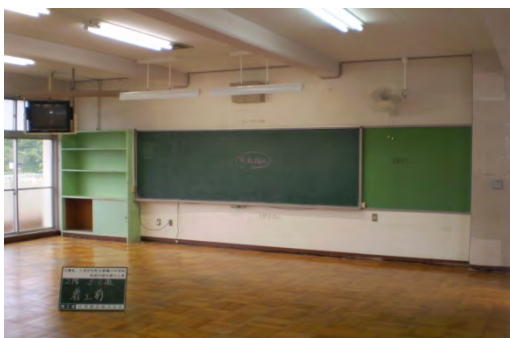
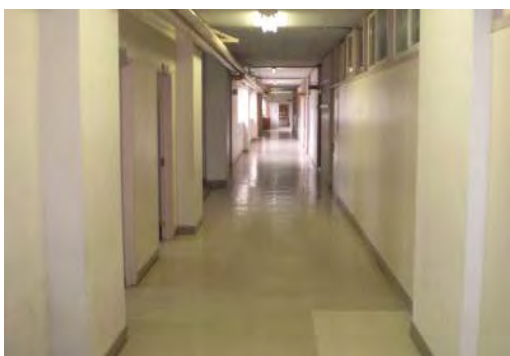
内装木質化による教育環境の整備（ときがわ方式）

ときがわ町では、老朽化した公共施設について、建て替えではなく、「耐震改修＋内装木質化」のときがわ方式により、改修を実施しています。新築した場合は、莫大な経費がかかり財政負担も大きくなるので、内装木質化し、耐震補強を施し、外装を塗り替えて、屋上に防水施工することにより、経費、工期を抑えながら、快適な教育環境の整備を実施しています。校舎については、平成１２年度から町内各学校の内装木質化を進め、平成２１年度の都幾川中学校の内装木質化により、全ての学校の校舎が木質化されました。その後、体育館の耐震補強及び大規模改造工事により、体育館の内装木質化も計画的に行っています。その効果については、温度・湿度の安定化や衝撃緩和、児童生徒の精神的安定など教育現場における様々な面での改善が期待されています。

財政面では、耐震補強工事と内装木質化による校舎の内装改修を含めた大規模改造工事（老朽改修）を実施することにより、同規模の校舎を新築する経費と比較し、約２０～３０％で改修工事を行うことができるため、費用対効果の面でも大きな経費節減が期待できる方式です。さらに、学校施設以外でも、平成２３年度に都幾川公民館、平成２４年度には玉川公民館の耐震補強・内装木質化工事を実施するなど、幅広く、公共施設の改修を推進しています。

※この内装木質化工事では、使用する木材のほとんどを、ときがわ町の約７割を占める森林（地域材）から調達するため、地域材における木材流通促進を加速させる点でも期待される工事です。

○改修前後の写真 《廊下（上段）と普通教室（下段）》



1 小・中学校

明覚小学校

○校舎耐震工事

- ・ 竣 工 昭和 5 4 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 0 年度
- ・ 総 事 業 費 6 8, 3 3 4, 0 0 0 円
内訳：工事費：62,685,000 円 設計費：3,234,000 円
工事監理費：2,415,000 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社丸岡設計



○校舎内装木質化

- ・ 竣 工 昭和 5 4 年
- ・ 工 事 年 度 平成 1 4 年度
- ・ 総 事 業 費 7 8, 5 1 3, 7 5 0 円
内訳：工事費：74,214,000 円 設計費：2,147,250 円
工事監理費：2,152,500 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社第一設計事務所



○屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和 5 2 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 4 年度
- ・ 総 事 業 費 1 0 2, 8 5 1, 7 0 0 円
内訳：工事費：91,350,000 円 設計費：6,259,050 円
工事監理費：5,242,650 円
- ・ 施 工 業 者 株式会社大信工業 埼玉支店
- ・ 設計工事監理 株式会社舞総合設計



○校舎木床等塗装工事

- ・ 竣 工 昭和 5 4 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 3 年度
- ・ 総 事 業 費 4, 0 6 1, 4 0 0 円
- ・ 施 工 業 者 内藤塗装工業株式会社

萩ヶ丘小学校

○普通教室棟改築工事

- ・ 竣 工 昭和 1 1 年
- ・ 工 事 年 度 平成 1 5 年度
- ・ 総 事 業 費 2 9 6, 1 6 5, 0 0 0 円
内訳：工事費：276, 530, 000 円 設計費：13, 650, 000 円
工事監理費：5, 985, 000 円
- ・ 施 工 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社桂設計

○特別教室棟大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和 1 1 年
- ・ 工 事 年 度 平成 1 6 年度
- ・ 総 事 業 費 1 1 7, 1 9 0, 5 0 0 円
内訳：工事費：111, 300, 000 円 設計費：2, 793, 000 円
工事監理費：3, 097, 500 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社桂設計



○屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和 5 0 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 5 年度
- ・ 総 事 業 費 1 0 8, 4 3 3, 5 0 0 円
内訳：工事費：98,700,000 円 設計費：5,985,000 円
工事監理費：3,748,500 円
- ・ 施 工 業 者 齋藤工業株式会社 西埼玉営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社第一建築設計事務所



○特別教室棟耐震補強工事

- ・ 竣 工 昭和 1 1 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 7 年度
- ・ 総 事 業 費 6 9, 1 2 6, 0 0 0 円
内訳：工事費：57,780,000 円 設計費：7,350,000 円
工事監理費：3,996,000 円
- ・ 施 工 業 者 有限会社 堀口工務店
- ・ 設計工事監理 丸岡設計株式会社

玉川小学校

○校舎耐震工事

- ・ 竣 工 昭和 4 7 年
- ・ 工 事 年 度 平成 1 8 年度
- ・ 総 事 業 費 4 7, 4 0 7, 5 0 0 円
内訳：工事費：42, 000, 000 円 設計費：4, 042, 500 円
工事監理費：1, 365, 000 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社新日本設計



○校舎内装木質化

- ・ 竣 工 昭和 4 7 年
- ・ 工 事 年 度 平成 1 2 年度
- ・ 総 事 業 費 5 7, 0 5 0, 0 0 0 円
内訳：工事費：54, 095, 000 円 設計費：905, 000 円
工事監理費：2, 050, 000 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 小川任信建築設計事務所

○屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和 4 9 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 3 年度
- ・ 総 事 業 費 1 1 5, 7 2 0, 5 0 0 円
内訳：工事費：104, 475, 000 円 設計費：6, 247, 500 円
工事監理費：4, 998, 000 円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社第一建築設計事務所



都幾川中学校

○校舎耐震工事

- ・ 竣 工 昭和45年
- ・ 工 事 年 度 平成18年度
- ・ 総 事 業 費 165,249,000円
内訳：工事費：156,450,000円 設計費：4,410,000円
工事監理費：4,389,000円
- ・ 施 工 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社松下設計

○校舎内装木質化

- ・ 竣 工 昭和45年
- ・ 工 事 年 度 平成21年度
- ・ 総 事 業 費 109,200,000円
内訳：工事費：99,435,000円 設計費：5,250,000円
工事監理費：4,515,000円
- ・ 施 工 業 者 中里建設株式会社
- ・ 設計工事監理 株式会社松下設計



○特別教室棟耐震補強及び大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和47年
- ・ 工 事 年 度 平成21年度
- ・ 総 事 業 費 72,973,950円
内訳：工事費：67,200,000円 設計費：3,201,450円
工事監理費：2,572,500円
- ・ 施 工 業 者 株式会社江田組 本社
- ・ 設計工事監理 株式会社丸岡設計



○屋内運動場耐震補強及び大規模改造工事

- ・ 竣 工 昭和48年
- ・ 工 事 年 度 平成22年度
- ・ 総 事 業 費 119,847,000円
内訳：工事費：112,140,000円 設計費：4,137,000円
工事監理費：3,570,000円
- ・ 施 工 業 者 株式会社江田組 本社
- ・ 設 計 業 者 株式会社新日本設計
- ・ 工 事 監 理 株式会社丸岡設計



○屋内運動場吊天井改修工事

- ・ 竣 工 昭和48年
- ・ 工 事 年 度 平成28年度
- ・ 総 事 業 費 29,970,000円
内訳：工事費：27,648,000円 設計費：1,468,800円
工事監理費：853,200円
- ・ 施 工 業 者 株式会社 島村工業
- ・ 設計工事監理 株式会社 丸岡設計

玉川中学校

○校舎耐震工事

- ・ 竣 工 昭和47年
- ・ 工 事 年 度 平成19年度
- ・ 総 事 業 費 97,282,500円
内訳：工事費：91,245,000円 設計費：3,097,500円
工事監理費：2,940,000円
- ・ 施 工 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社丸岡設計



○校舎内装木質化

- ・ 竣 工 昭和47年
- ・ 工 事 年 度 平成13年度
- ・ 総 事 業 費 88,290,300円
内訳：工事費：84,409,500円 設計費：1,239,000円
工事監理費：2,641,800円
- ・ 施 工 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社第一建築設計事務所



○屋内運動場建設

- ・ 竣 工 平成18年
- ・ 工 事 年 度 平成17年度
- ・ 総 事 業 費 327,033,100円
内訳：工事費：312,713,100円 設計費：8,820,000円
工事監理費：5,500,000円
- ・ 施 工 異 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社丸岡設計



2 公民館

都幾川公民館

○耐震補強及び大規模改修工事

- ・ 竣 工 昭和 5 5 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 3 年度
- ・ 総 事 業 費 1 4 7, 4 5 2, 5 5 0 円
内訳：工事費：134, 264, 550 円 設計費：13, 188, 000 円
- ・ 施 工 業 者 三ツ和総合建設業協同組合 熊谷営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社片渕設計事務所



玉川公民館

○耐震補強及び大規模改修工事

- ・ 竣 工 昭和 5 1 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 4 年度
- ・ 総 事 業 費 1 8 4, 3 4 8, 5 0 0 円
内訳：工事費：164, 923, 500 円 設計費：13, 020, 000 円
工事監理費：6, 405, 000 円
- ・ 施 工 業 者 株式会社佐伯工務店 上尾営業所
- ・ 設計工事監理 株式会社千葉構造設計コンサルタント



都幾川公民館図書室

○図書室床木質化工事

- ・ 竣 工 昭和55年
- ・ 工 事 年 度 平成29年度
- ・ 総 事 業 費 424,440円
- ・ 施 工 業 者 有限会社山崎工務店



3 体育館

体育センター（せせらぎホール）

○幼児トレーニングルーム木質化工事

- ・ 竣 工 平成 9 年
- ・ 工 事 年 度 平成 2 8 年 度
- ・ 総 事 業 費 2, 0 6 4, 2 3 8 円
内訳：工事費：1, 527, 120 円 木製遊具購入：537, 118 円
- ・ 施 工 業 者 有限会社山崎工務店
- ・ 遊 具 購 入 先 特定非営利活動法人日本グッド・トイ委員会
ときがわカンパニー合同会社



V 教育関係役職者名簿

○教育長及び教育委員

教 育 長	久米 正美
教育長職務代理者	大島 紀夫
委 員	岡野 和義
委 員	山下 幸子
委 員	小池 裕子

○社会教育委員

委 員 長	谷野 裕子
副 委 員 長	強瀬 広子
委 員	加藤 達男
委 員	内田 文江
委 員	市石 智明
委 員	野口 本和
委 員	山下 洋子
委 員	相澤 学代
委 員	林 雄一
委 員	山崎 則枝

○学校運営協議会委員

明覚小学校	小峯 清
	岡野 正一
	市川 和義
	大川 拓矢
	西澤 明彦
	林 雄一
	西條 宏実
萩ヶ丘小学校	名里 亨介
	清水 誠司
	井上 秋男
	佐伯 頼栄
	野口 京子
	羽太 高裕
	福島 幸江

玉川小学校	斉藤みゆき
	前田 進一
	設楽 進
	岡野 正弘
	酒井早枝子
	木村 広美
	山崎 則枝
	高山 正彦
	松本 博志
都幾川中学校	栗田 秀人
	小室 和子
	山崎 茂
	坂下 浩
	鈴木 義宏
	柳瀬 寛洲
	吉岡しのぶ
	正木 彰
	栗原 直道
	野口千津子
	中島 慎二
玉川中学校	長島 一雄
	山口 明男
	相澤 学代
	岡本 育三
	斉藤みゆき
	木村 広美
	立石 恵
	山崎 則枝
	矢島 孝行

○関口茂八奨学生選考委員

委員長	渡邊 一美
委員	久米 正美
委員	山下 幸子
委員	野口 千津子
委員	山崎 則枝
委員	市石 智明

○学校医

明覚小学校	栉川 正嗣 (内科)
	新井 早苗 (眼科)
	野崎 信行 (耳鼻咽喉科)
萩ヶ丘小学校	南部 克俊 (内科)
	田中真理子 (眼科)
	野崎 信行 (耳鼻咽喉科)
玉川小学校	栉川 正嗣 (内科)
	田中真理子 (眼科)
	田口 裕嗣 (耳鼻咽喉科)
都幾川中学校	児玉 順一 (内科)
	新井 早苗 (眼科)
	野崎 信行 (耳鼻咽喉科)
玉川中学校	児玉 順一 (内科)
	田中真理子 (眼科)
	田口 裕嗣 (耳鼻咽喉科)

○学校歯科医

明覚小学校	安井 君子
萩ヶ丘小学校	安井 君子
玉川小学校	小峰 一雄
都幾川中学校	安井 君子
玉川中学校	小峰 一雄

○学校薬剤師

明覚小学校	新井 祐樹
萩ヶ丘小学校	井上 忠義
玉川小学校	内田 忠男
都幾川中学校	関口 直邦
玉川中学校	内田 忠男

○就学支援委員会

こだま医院長	児玉 順一
埼玉療育園	新井 幸男
平保育園長	清水 誠司
玉川保育園長	木村 広美
はなぞの保育園長	柳瀬 博元
明覚小学校教諭	園部 典枝
明覚小学校教諭	津畑 裕也
萩ヶ丘小学校教諭	澄川 知穂
玉川小学校教諭	原 和行
玉川小学校教諭	半田 若菜
都幾川中学校教諭	松崎 安代
都幾川中学校教諭	須田 岬
玉川中学校教諭	坂本 美紀
玉川中学校教諭	山口 敦司
明覚小学校長	林 雄一
萩ヶ丘小学校長	羽太 高裕
玉川小学校長	栗田 秀人
都幾川中学校長	野口 千津子
玉川中学校長	山崎 則枝

○給食運営員

委員長	大川 拓矢
副委員長	林 雄一
副委員長	岩田 美香
委員	安井 君子
委員	神内 伸也
委員	林 雄一
委員	羽太 高裕
委員	野口千津子
委員	山崎 則枝
委員	小川有希乃
委員	多加谷弘子
委員	福島 麻由
委員	皆銭 悠真
委員	佐藤 晶子
委員	名里 享介
委員	松本 博志
委員	小室 和子

○PTA会長

明覚小学校	大川 拓矢
萩ヶ丘小学校	名里 享介
玉川小学校	松本 博志
都幾川中学校	小室 和子
玉川中学校	岩田 美香

○文化財保護審議委員

委員長	岩田 泰治
副委員長	吉野 優子
委員	野中 仁
委員	小林 幸枝
委員	山本 富士雄
委員	濱島 文明
委員	落合 義明

○公民館運営審議会委員

委員長	林 雄一
副委員長	関根 雅泰
委員	草薙 洋二郎
委員	野口 本和
委員	内田 文江
委員	市石 智明

○図書館協議会委員

委員	強瀬 広子
委員	谷野 裕子
委員	山下 洋子
委員	市川 恵美
委員	山崎 則枝

○スポーツ推進委員

会長	岩田 大司
副会長	関口 典助
副会長	荒井 富男
委員	藤平 茂男
委員	大島 和男
委員	小輪瀬 博子
委員	山賀 裕之
委員	村田 千恵美
委員	山倉 まや
委員	坂本 守
委員	小島 裕子
委員	岡野 誠
委員	岡野 香織
委員	岡野 満夫
委員	森下 彰
委員	長島 稔
委員	堀口 安喜夫
委員	福田 健司
委員	新井 裕幸
委員	森田 芳樹

令和３年度　ときがわ町教育要覧

発行：令和３年８月
編集：ときがわ町教育委員会

〒355-0396
埼玉県比企郡ときがわ町大字桃木32番地
TEL.0493-65-1521
FAX.0493-65-5535
0493-65-1510
URL <http://www.town.tokigawa.lg.jp>